



町報

よぶこ

発行／呼子町・編集／企画課・印刷／唐津印刷有限会社

町勢

昭和47年2月末現在	
住民基本台帳による	
人口	男 3,799人
	女 4,124人
計	7,923人
世帯数	1,926世帯
戸平均	4.11人

送る者送られる者



加部島小中学校の卒業生見送り

加部島に住む僕たちの学校は、小学校と中学校がいつしよで、校長先生も一人の併設校だ。

同年同志の顔や名前も覚えきれないという都会のマンスモス学校とちがい、上級生や下級生の名前はもちろん、その家の人達のことまで全部知っている。学校中がみんな血の通った兄弟のようなものだ。

上級生から時々しかられたり、注意をされたりはするが、いじめられたことはない。

毎日顔をあわせていた、にいちやん達が今日卒業式をむかえて学校を去る日が来た。

お別れのために校門に並んで見送る僕たちの前を、卒業証書を手にして、やや気どりが胸を張って通る。見送りの列に加わって

いる先生達の顔は、うれしそうで悲しそうなめつたに見られないへんな顔だった。

僕が「しつかりがんばってねー」とさげんだら、一人のにいちやんがたちどまって、「お前たちも元気で勉強しろよ」と言いながら握手してくれた。その手がとても暖かく感じられた。

今日卒業したおにいちやんやお

ねえちゃんか、いつまでも尊敬され、たよりになれる人であってほしいと願わずにはいられなかった

加部島中学校卒業生

男 十七名
女 十三名

小学校卒業生

男 十四名
女 十三名

議会通信

昭和47年度当初予算決まる

一般会計予算五億三千二百万円
昨年度当初予算より二六、一％増

昭和四十七年度の呼子町予算を審議する三月定例議会が三月十三日招集され、六日間の会期で議案審議が行なわれました。

提出されました四十七年度予算総額は一般会計で五億三千二百三十七万七千円、特別会計で一億六千二百六十六万三千円で、合計七億になんなんとする予算規模であります。

まづ一般質問では、九議員からそれぞれ次のような一般質問が行なわれました。

- 1、加部島小中学校の過疎化による生徒数減少に対する長期教育計画の内容について
- 2、小中学生に対する入学祝について
- 3、老人医療費の無料化について
- 4、寝たきり老人対策について
- 5、野犬、野ネズミ、ハエの駆除対策と助成について
- 6、鎮西町との合併について
- 7、海岸道路の歩道整備と道路中央線の線引について
- 8、漁家の生かしかご放置の処理対策について
- 9、港湾の使用区分

の設定について

- 9、町道吹上線の補修整備の件
- 10、呼子港内船溜の件
- 11、先方住宅方面の道掘りの悪い処のし尿処理について

- 12、防波堤の負担金軽減について
- 13、児童手当支給方法について
- 14、中町旅客船待合所建設について

- 15、殿ノ浦弁天渡り線の延長と貫通について
- 16、税外負担の全廃について
- 17、町老齢年金の引上について
- 18、開発公社造成地の処分について

- 19、今後の財政について
- 20、議員定数の減少について

- 1、過疎化の傾向から復式授業の不可避が島民の父兄の関心事であり、そうならないように努力したい又今後学校の統合等も考え長期計画の中で検討される問題であり、父兄の理解を得たい

- 2、入学祝は四十七年度には予算化してない

- 3、国の施策によって順次進めたい

- 4、養護老人ホームもその意味から建設している。

- 5、野犬については取締条例を作ることが懸案となっているが、条例の遵守と罰則の適用が難かしいので罪で作られるよう願っている又野犬の捕獲の方法及び実施、それに野ネズミ及びハエの駆除等今後充分検討します。

- 6、町村合併の詳細な資料及び町民の意識調査等まだしてないが私としては異論は余りない。大所高所から裸になって合併するといふ両町の意志決定が大事と思う。

- 7、海岸道路の歩道については、町有財産管理審議会の答申を受け交通量の増加から、或る程度歩道とした。又線引については物揚場、臨港道路、漁港関連道路と夫々の性質を考えてやりたい。使用区分についても、そろそろ実施せねばと考えております。

- 8、生かしかごについては関係者と相談し予算面で処理したい。
- 9、吹上線は二町村間の道路とし過疎対策として県が行なう。
- 10、船溜の件には陳情書にも同様の趣旨が述べられており充分にこの問題は考えるか施行上に問題

呼子港 4月の潮汐表

日	曜	旧暦	月	日	高 潮				低 潮			
					午 前		午 後		午 前		午 後	
					時刻	潮高	時刻	潮高	時刻	潮高	時刻	潮高
1	土	2-18	A	10.16	138	4.41	177	4.08	37	4.41	8	
2	日	19		10.40	194	11.26	166	4.23	45	5.10	18	
3	月	20		11.04	187	※	※	4.58	57	5.40	27	
4	火	21		11.33	187	※	※	5.23	69	6.13	40	
5	水	22	S	0.38	137	11.55	167	5.47	82	6.58	53	
6	木	23		1.32	123	0.34	153	6.28	94	8.13	63	
7	金	24	C	3.26	114	1.49	141	8.00	103	10.06	65	
8	土	25		5.34	125	4.12	138	10.10	101	※	※	
9	日	26		6.22	141	5.54	153	11.39	56	11.45	83	
10	月	27		6.59	158	6.55	174	0.33	42	0.43	60	
11	火	28		7.33	178	7.45	193	1.15	30	1.30	35	
12	水	29	E	8.02	196	8.31	207	1.54	22	2.14	11	
13	木	30		8.42	211	9.14	213	2.32	20	2.58	-5	
14	金	3-1	●P	9.17	220	9.58	213	3.10	22	3.42	-16	
15	土	2		9.52	224	10.42	204	3.49	29	4.27	-19	
16	日	3		10.28	220	11.26	190	4.28	41	5.12	-12	
17	月	4		11.04	212	※	※	5.07	56	6.01	0	
18	火	5	N	0.14	170	11.47	197	5.47	71	6.55	20	
19	水	6		1.10	149	0.25	178	6.34	85	7.59	38	
20	木	7	☾	2.28	133	1.23	157	7.35	98	9.24	53	
21	金	8		4.22	129	3.05	143	9.09	103	11.02	58	
22	土	9		5.41	136	5.11	143	11.06	94	※	※	
23	日	10		6.26	146	6.22	152	0.52	57	0.21	78	
24	月	11	E	6.59	157	7.10	160	0.54	55	1.06	60	
25	火	12		7.28	169	7.49	169	1.24	53	1.41	42	
26	水	13		7.54	180	8.24	175	1.49	52	2.14	28	
27	木	14		8.21	191	8.58	179	2.14	50	2.46	19	
28	金	15	A○	8.49	197	9.32	181	2.41	52	3.18	13	
29	土	16		9.17	201	10.06	180	3.10	56	3.51	12	
30	日	17		9.46	201	10.41	176	3.40	59	4.23	14	

●…朔 ○…上弦 ◎…望 ◐…下弦 A…遠地点 P…近地点 S…最南
N…最北 E…赤道 上 ※…その欄に相当する潮候の存在しないことを示す

- 11、全般的問題として、広域圏の事業として、し尿処理施設を希望し、早くやりたい。
- 12、負担金の軽減については四十七年度考慮している。
- 13、離島方面の手当支給の便宜を考えてのことであり検討したい
- 14、中町に待合所を建設中であり使用管理等については考慮中。
- 15、道路の延長は以前からの希望であり長期計画で考えている。
- 16、税外負担軽減については随分軽減されたと思います。人家連
- 17、老齢年金の適用年齢の引下げは理想であるが、これも老人福祉につき善意が通るようにせねばならぬ。
- 18、ほぼ工事も完了し四十七年度一部造成地売却予定である。
- 19、今後の財政事情は御指摘のとおりです事業の適正を期し償還に支障のないようこしたい。

（二ページからつづき）

20、議員定数は人口一万の時も今も同じで良いかは考えなければならぬが、議会活動の為に少ないがよいかどうか、議会において慎重検討を要する問題、執行部と議会で話し合い結論を出すことで、私としてはまだ議会に結論を述べる段階ではない。

以上の答弁があり、次に上程された四十六年度関係議案は

一、町村職員退職手当組合規約変更について（名称変更と加入組合追加）

二、広域市町村圏組合規約変更について（共同処理事務に電算センターと常備消防事務を加える）

一、建物寄附受入れについて（小川島出身吉川源市氏の理科教室の建物寄附）

一、町議会議員、町三役、教育長等の特別職給与及び報酬改正三件。

一、職員の特種勤務手当条例改正一、四十六年度予算補正三件。

以上の議案を可決し、引き続き四十七年度予算案及び条例関係議案が上程され、これに対する町長の施政方針の説明が行われた。

○四十七年度町政に対する施政方針。

四十七年度一般会計、七つの特別会計と、直接予算とは関係ありませんが、開発公社、海中公園開

一般会計及特別会計予算

予 算 名	47年度予算額	46年度予算額	比較%
一般会計予算	532.307	422.125	126.1%
特別会計内訳			
国民健康保険	89.173	87.130	102.3%
上水道事業	17.345	16.614	104.3%
授産事業	4.585	4.255	107.7%
小川島診療事業	9.587	8.144	117.7%
宅地造成事業	423	288	146.8%
養護老人ホーム	11.565		
国民宿舎	29.985	25.680	116.7%
特別会計総計	162.663	142.111	114.4%

発公社、唐津東松浦広域組合と身近で重要な避難港防波堤の事業予算等について説明致します。一般会計では国の景気刺激対策とも関係致しまして、二六・一%の伸びで積極大型の予算となりました。まず養護老人ホームの開設と継続して二十名分の建設、その他本年度で主なものでは農業面で殿ノ浦の幹線農道、加部島の農免道路の完成、小川、加部島の地籍調査、漁港関係では呼子漁港の当初計画が完了し、引き続き才五次整備計画で多少計画の実施をしたい。次に加部島開発に積極的に取り組み、道路と簡易水道で可成りの計画となる。

一般道路関係約五千万円、河川費として駅前団地造成に関連した防災の為に関係方面の方との協議による具体策の実施、都市計画街路

は引き続き駅前広場から長沙子三三路方面が予算化される。公営住宅もオ一種、オ二種（従来の住宅）を夫々建設し、入居者の居住性の向上に努め、その為に古い公営住宅の一部払下を実施し財源とした。学校関係では呼子小学校の屋内体育館の建設と呼中のプール敷地の購入を予定し建設は割愛した造船鉄工団地造成についても着工の計画を具体化させております。

特別会計については、養護老人ホームを新規に加え、更に皆様の御理解を得たいのは水道事業会計が現在のままでは四十六年度五百五十万円、四十七年度四百八十万円合計一千万の赤字となり、水道施設の増設と延長を本年度も小友まで計画しますと採算も悪化しますので、約三三%の値上げ実施のやむなきに至りました。更に加部島の簡易水道が完成します四十八年度には、加部島が加わり又赤字となるが加部島だけを別個にするわけにはいかないのであります。

更にこの際付け加えますと農免道路の完成と共にフェリーを加部島に就航させたいと考えております。予算以外では開発公社造成工事、付帯工事まで完成したい。海中公園開発公社では養漁センターと加部島に宿舎を考え、広域圏組合では電算機センターと常設消防の分署設置が決まっている。尚避難港中防波堤が五億七千万円の予算で

一般会計予算内訳

（単位千円）

入					出				
歳	予 算 課 目	47年度 予算額	総額に 対する比	46年度 予算額	前年度に 対する比	歳	予 算 課 目	47年度 予算額	総額に 対する比
町	税	44.347	8.3%	37.561	18.1%	議	会 費	11.608	2.2%
	地方譲与税	1.500	0.3				総 務 費	56.237	10.6
	自動車取得税	2.600	0.5	1.799	44.5		民 生 費	79.731	15.0
	地方交付税	227.920	42.8	174.763	30.4		衛 生 費	10.821	2.0
	交通安全対策交付金	90	0	52	73.1		農林水産業費	104.534	19.6
	分担金負担金	10.240	2.0	8.776	16.7		商 工 費	11.295	2.1
	使用料手数料	12.250	2.3	6.850	78.8		土 木 費	113.573	21.3
	国庫支出金	85.092	16.0	80.858	5.2		消 防 費	17.610	3.3
	県 支 出 金	43.125	8.1	34.685	24.3		教 育 費	91.512	17.2
	財 産 収 入	6.218	1.2	229	2615.3		災 害 復 旧 費	933	0.2
	寄 附 金	2.080	0.4	2.343	△11.2		公 債 費	33.642	6.3
	繰 越 金	5.000	0.9	5.000	0		諸 支 出 金	11	0.0
	諸 収 入	17.245	3.2	17.109	0.8		予 備 費	800	0.2
	町 債	74.600	14.0	52.100	43.2				
歳入合計		532.307	100	422.125	26.1	歳出合計		532.307	100

実施される予定である。
以上施政方針を終り、次いで議

案審議に入り、

四ページにつづく

〈三ページからつづき〉

一、養護老人ホーム設置条例の制定。

一、呼子町学校給食共同調理場設置条例の制定。

一、呼子町社会教育委員条例制定。

一、非常勤特別職(区長、各種委員等)の報酬条例改正。

一、呼子町消防団員報酬条例改正。

一、呼子町分課条例の改正(商工観光課の設置)。

一、呼子町職員定数条例改正。

一、呼子町特別会計条例改正(養護老人ホーム特別会計)。

一、呼子町水道事業給水条例改正。

一、四十七年度一般、特別会計予算八件。

以上合計二十七件の内四十七年度予算案を残して、全議案を可決して才一日目の日程を終り、予算特別委員会を設置し、委員長に石田政治議員を選出、三日間予算審議を続行し、最終日三月十八日の本会議に予算案を石田委員長の委員会報告のとおり承認して四十七年度関係予算を可決し、引続き追加議案の、

一、教育委員会委員の任命について(草蒲一義氏任命)を可決して閉会した。

次に具体的内容として、主な条例、予算について述べますと、

◎四十六年度関係

(議員報酬改正)

議長 月額 四万三千元

副議長 " 三万四千元

議員 " 三万円

(三役教育長給与改正)

町長 月額 十七万二千元

助役 " 十三万三千元

収入役 " 十一万八千元

教育長 " 九万四千元

以上議員、三役等の適用期日は四十七年三月一日より実施。

(一般会計予算の補正)

農業関係で米生産調整協力特別奨励補助金が十一生産組合へ一組合当り三万円の農道補修費として助成される。

以上の他一般会計予算補正額は九百六十八万七千円を追加して、最終累計が歳入歳出予算総額で、五億六千八百八十四万円となりました

◎四十七年度関係

◎総務費

交通安全対策事業費四十九万九千円計上され、益々激化する交通事故情から、更に安全施設工事を各所に実施する。

◎衛生費

環境衛生関係で野犬撲滅の費用八万円を計上し野犬一掃を計画する。加部島に簡易水道建設を計画し、課目だけを出しましたが今後事業設計をなし実施予定である。

◎農林水産業費

農業関係で殿ノ浦幹線農道が才二年度となり、加部島の農免道路が本年度完成予定、又上場農業振興の基本である水資源の開発に伴

い上場土地改良事業調査費として八十万円を計上し事業推進をする

水産関係で漁業信用基金協会出資金十萬の他利子補給等計上され大型魚礁、漁具置場等の事業を取上げ、漁港改修を引続き実施する。

◎商工観光費

商工観光面では信用保証協会出資金八万円と商工会、観光協会の補助金が各十万円増額された。加部島開発の為の調査費の計上と遊歩道の整備が予定されている。

◎土木費

土木関係で山腹、河川の防災個所等の調査費十万円、町道舗装整

備は五カ年計画の才三年目を迎えて約五千万円の工事が進められ、橋梁新設改良費で農協横と駐車場間に橋の新設が予定され、河川費で駅前広場から天満町側の河川の調査、改修工事を県の指導を得て実施し、港湾建設費で造船鉄工用地造成と海岸道路の歩道整備を実施する。都市計画街路は引続き延長し、公営住宅も十二戸建設を予定する。

◎教育費

呼子小学校の屋内運動場の建設が始まり、呼子中学校ではプール用地の購入がなされ、その他学校

給食一年を省りみて

加部島中学校長 山下 勇

現れた。これを職員一同と協議し、同時にPTAの給食委員会とも相談し、その都度解決してきたが、まだまだ問題がある。給食費の集金は部落の係を設けてやっているが、これもたいへんな仕事で係になられた御父兄は超奉仕の心でなければできない。何と簡便にできないものかと工夫中。野菜類の物価値上りを防止するための自給自足の体制等も地元父兄にお願いするほかはない。一日一食小学生単価約四二円、中学生約五〇

円を維持するためには、経理の見直し、物価の見直し等を常に考えなくてはならない。四十七年五月には呼子小中学校の給食センターが開始されますが、呼子町内の給食物資を共同購入する等によって単価を下げるとか、共同献立会議等によって事務の簡素化をはかるとか、専門營養士の雇入れを兼ねて経理会計の簡素化をはかる等、前向きに検討する時期に来ました。願わくば速かに全町給食委員会を組織し、昭和四十七年五月より開始される給食センターの合理的運営に役立ちたいと願うものであります。町民の御理解を期待致します。

昭和四十六年五月七日より小川島小中学校とともに給食を開始した。わが呼子町にとっては革新的な実施だと喜びました。しかし実際にやってみると先進校と異なり

仲々不馴れで、現実な迷いが多々

備は五カ年計画の才三年目を迎えて約五千万円の工事が進められ、橋梁新設改良費で農協横と駐車場間に橋の新設が予定され、河川費で駅前広場から天満町側の河川の調査、改修工事を県の指導を得て実施し、港湾建設費で造船鉄工用地造成と海岸道路の歩道整備を実施する。都市計画街路は引続き延長し、公営住宅も十二戸建設を予定する。

◎教育費

呼子小学校の屋内運動場の建設が始まり、呼子中学校ではプール用地の購入がなされ、その他学校

給食一年を省りみて

加部島中学校長 山下 勇

現れた。これを職員一同と協議し、同時にPTAの給食委員会とも相談し、その都度解決してきたが、まだまだ問題がある。給食費の集金は部落の係を設けてやっているが、これもたいへんな仕事で係になられた御父兄は超奉仕の心でなければできない。何と簡便にできないものかと工夫中。野菜類の物価値上りを防止するための自給自足の体制等も地元父兄にお願いするほかはない。一日一食小学生単価約四二円、中学生約五〇

円を維持するためには、経理の見直し、物価の見直し等を常に考えなくてはならない。四十七年五月には呼子小中学校の給食センターが開始されますが、呼子町内の給食物資を共同購入する等によって単価を下げるとか、共同献立会議等によって事務の簡素化をはかるとか、専門營養士の雇入れを兼ねて経理会計の簡素化をはかる等、前向きに検討する時期に来ました。願わくば速かに全町給食委員会を組織し、昭和四十七年五月より開始される給食センターの合理的運営に役立ちたいと願うものであります。町民の御理解を期待致します。

昭和四十六年五月七日より小川島小中学校とともに給食を開始した。わが呼子町にとっては革新的な実施だと喜びました。しかし実際にやってみると先進校と異なり

仲々不馴れで、現実な迷いが多々

備は五カ年計画の才三年目を迎えて約五千万円の工事が進められ、橋梁新設改良費で農協横と駐車場間に橋の新設が予定され、河川費で駅前広場から天満町側の河川の調査、改修工事を県の指導を得て実施し、港湾建設費で造船鉄工用地造成と海岸道路の歩道整備を実施する。都市計画街路は引続き延長し、公営住宅も十二戸建設を予定する。

◎教育費

呼子小学校の屋内運動場の建設が始まり、呼子中学校ではプール用地の購入がなされ、その他学校

給食一年を省りみて

加部島中学校長 山下 勇

現れた。これを職員一同と協議し、同時にPTAの給食委員会とも相談し、その都度解決してきたが、まだまだ問題がある。給食費の集金は部落の係を設けてやっているが、これもたいへんな仕事で係になられた御父兄は超奉仕の心でなければできない。何と簡便にできないものかと工夫中。野菜類の物価値上りを防止するための自給自足の体制等も地元父兄にお願いするほかはない。一日一食小学生単価約四二円、中学生約五〇

円を維持するためには、経理の見直し、物価の見直し等を常に考えなくてはならない。四十七年五月には呼子小中学校の給食センターが開始されますが、呼子町内の給食物資を共同購入する等によって単価を下げるとか、共同献立会議等によって事務の簡素化をはかるとか、専門營養士の雇入れを兼ねて経理会計の簡素化をはかる等、前向きに検討する時期に来ました。願わくば速かに全町給食委員会を組織し、昭和四十七年五月より開始される給食センターの合理的運営に役立ちたいと願うものであります。町民の御理解を期待致します。

昭和四十六年五月七日より小川島小中学校とともに給食を開始した。わが呼子町にとっては革新的な実施だと喜びました。しかし実際にやってみると先進校と異なり

仲々不馴れで、現実な迷いが多々

「たばこ」はぜひ町内で買しましょう

町内で買っていただくと、税金となって町の収入になります。

延寿荘の老人に贈る

呼子中学校
生徒会 善意の一円貯金

落ちていた一円玉は子どもも拾わない。といわれていますが、本当にそんなに値打の無いものでしょうか。

呼子中学校の生徒会では十二年前、『私達が使っているお金は、たとえ一円でも、両親が汗水流して働いて得られた一部であるから



一円貯金を贈る生徒会長

決して無駄にしたり、軽視したりしないで、有効に生かすべきである」と当時三年生であった坂本常彦君の発議によって一円貯金が始められ、教材の足しや図書の実に当てられ、現在まで続けられてきました。

今年度は「小さな親切運動」に

も全員が加入して熱心に協力してくれたので貯金箱を開いてみると何と五千七百六十個もの一円玉が集まっていた。

このつかいみちについて生徒会に計った結果、今呼子町に建設中の養護老人ホーム延寿荘に贈り、お年よりの方々のお役に立てても

道路は広く使いましょう

公有地である道路や物揚場を私用に占有されているのが目立って多くなってきました。

公有地は住民皆さんの共同の財産であります。この共有の財産を個人が私用のために、無断で長期にわたって使用することは、ゆるされないことです。

道路や広場は、住民が住みやすいように、又便利なものに、その目的にしたがって、皆さんが納められた税金で造られているものがあります。

したがって、目的以外に使用することはできません。道路などに物を放置している人は、皆んなの共同の財産を犯していることになるのです。

警察署からも、不法占有はいけなと注意を受けております。

事業用の資材を道路上に数日間あるいは長期的に置くと、港湾

らおうと決まり、三月十八日に生徒会長日浦真幸君と宮本篤君の両名が役場に持参して助役（町長不在であったため）に手渡しました。

助役から、「皆さんの真心と共に有がたく頂戴致します。必ずお年よりの人がよろこばれるように使わせて載く事をお約束します」

と挨拶がありました。

ポケットの底に残った一円玉、机の引出のすみにねむっている一円玉も皆んなにその気があれば万金にも価して生きて参ります。

中学生の皆さん本当にありがとうございました。

報告によりますと従来この古墳の石室は堅穴式であると言われていたが、相当大きな横穴式石室であることが判明しました。

床面は敷石（径二十センチ程の扁平な石）が施されていて、石室内からは多数の土器、鉄器が、完形のままで出土しました。

この古墳は、今から千五百年ほど前の呼子、加部島の人たちが作った墓で、加部島にある他の多くの古墳と合せて、このあたりの古代の人々の生活を知る上で大変重要なものなのです。

現在このような遺跡が全国的に破壊されている中で、加部島の遺跡は大変よく保存されています。

このように、多くの遺跡が残っていることは呼子、加部島の歴史をより正確に知る上で非常に貴重な資料となるのです。

皆さん、私達の手でこれらの遺跡を保護し、後世の人々に、私たちの、皆の財産として残しましょう。

佐大考古学研究会の

発掘報告から一

加部島の

ひさご塚発掘

教育委員会では、三月二十一日から、加部島北東端（杉野原）に築かれている瓢塚（ひさごづか）の発掘調査を行なっています。

作業に当たっているのは、佐賀大考古学研究会の部員の人達です。

町づくり後継者

特別研修に参加して

団長市丸幾博
団員渡辺保晴 柴田初一
山口修二 平田善徳
浜中満

あるがため大蔵主計局ではこまごまとした点にいたるまで苦勞され慎重な審議が行なわれていることがわかります。

三月三日、呼子町から「後継者」としての勉強をさせてもらうため、私たち六名は、五泊六日の予定で、関東・関西・の産業や流通機構等の視察研修に出発しました。事前研修や結団式を済ませ、三日の午後五時呼子を出て、新幹線乗りついで翌日の午前十時二十五分東京に着きました。

先づ、国会の見学に行きました。その歴史の由来や機構などの説明を受けました。議事堂内の委員室や代議士室などにも案内され、大蔵省の宮下氏から、四十七年度の国の予算のしくみ、一般会計・補正予算・暫定予算、更にドルの問題、地方財政の問題、外貨準備高の問題、好不況の問題などについて講義を聴きました。

時々耳にしたり目にすることはあっても、ほとんど無知にひとしく、日頃の勉強不足が悔まれると同時に貴重な経験になりました。又予算編成の段階については衆参両院の成立まで、国民の税金で

清国神社



東京都民の生活で一番感じたことは、地方でみる年功序列ではなく、若い人達にも夢がもてる仕組みになっている様で、皆な精一ぱい働いていました。

何事も明確に、仕事と自由は、はっきりけじめをつけています。銀座の歩行者天国の日は、どこからこんなに沢山の人が集まるのだろうかと思ふ程の人人人！私達、地方の者にとって理解しにくかったのは、車をしめ出した歩行者天国の広い路上で、ある者は立ち止って何かを一所懸命に考え、ある若者は道路上に座り込んで酒を飲み、又、道路上に車座に座り何事かを話し合う、両側ではジョッピングを楽しむ人の群、この若い人達が何のために、こんな場所まで奇行をするのか、わからな

いこともありませんが、妙な感じを受けました。

おどろいた事は、すべての物の値段に想像していた以上の差があることで、ほうれん草一束にしても二十円のものから二百五十円のものまでありました。

消費者は量産による粗悪なものや、見かけだけのものより、質の向上を望んでいるようでした。生産者は、出荷先に適したものを作り出す必要があります。

商店街はさすがに地方とはまるでスケールがちがいが、個々の商店の特徴が生かされていること、消費人口も亦多いということでした。

呼子の商店も地方の特色を出し利用者の便を計ると同時に新らたなアイデアを打ち出す努力が必要だと感じました。

観光の問題では、呼子は魚がうまいという点では関東関西ともに割合よく知られているようです。

都会の人たちのこれからの観光に対する考えは、ただ見るだけ、味わうだけ、泊るだけというものではなく、外にも何か行動されるもの——例えば観光に来て、魚釣りが出来たり、海水浴がされたりしなくてはなりません。こまごまと宣伝をして、もっと突込んだ観光開発が望まれます。

私たちが研修に参加して、都会の人たちは何事も全般的に真剣で精一ぱい働いていられるというこ

とを改めて感じました。最後に、公害もなく、美しい郷土で生活している私達は非常に幸せではないかと思ひます。しかし都会の人達の仕事に対して情熱をもって真剣にとり組んでいる姿は田舎にはあまり見受けられないようです。

より豊かな郷土の発展のために私たちは力と智慧をふりしぼって懸命に努力しなくてはならないと痛切に感じ、身のひきしまる思いがいたします。

春の交通安全運動

4月6日～4月15日

〈運転者向け〉

とっさの時に 避けられますか その運転で

〈歩行者向け〉

ゆっくり待って さっさと渡る

〈子ども向け〉

ああドッキリ ファイなとびだし もうしません

「婦人学級」生け花教室 毎月一回開かれています



婦人会の教養学級として、毎月一回(才一日曜日)「生け花教室」が社会体育館で開かれて来ました。流儀は、専正池の坊。講師は、村上萬子先生、助講師として、熊本輝子、松本一四の両先生。学級生は婦人会の会員と、特別に希望参加の若い娘さん五、六人を、加えて五十名。自分の身に付き、直接役立つ実技の学級とあって皆さんとても熱心に勉強され、めきめきと腕をあげられました。

三月五日は、昭和四十六年度の最後のけいこ日になるので、専正池の坊流の若いお弟子さん数名も応援に来て作品を披露、そのあとお茶とお菓子で謝恩会を兼ねた座談会をして一年間のしめくくりがおこなわれました。

なお、来年度も引続いて開講されますので希望者は婦人会の支部長さんにお申出下さい。費用は、生花の実費の他毎回百円お載しします。

商業統計調査に

ご協力ください

通商産業省では昭和二十七年以来、二年目ごとに商業統計調査を実施しています。今年は第十一回目にあたり五月一日を基準に行ないます。

全国の全ての商店を対象とする「商業についての国勢調査」ともいべきものです。

この調査は、商店の販売活動の実態や全国的な商品の流れなどを明らかにすることを目的としています。近年、生産面の近代化にくらべて商業流通面の近代化の立遅れが各方面から指摘されていますので、この調査のもつ意味はきわめて大きいと言えます。

商業および商品流通の現状を的確に把握することは、国や都道府県、市町村の道路輸送計画などともとり、これらとつり合のれた商業の近代化にも不可欠であるばかりでなく、各商店においても将来の営業方針を立てるうえで大いに役立つだろうと思います。

さらにこの調査は卸売業・小売業に属する商店を対象とするところから、他の統計調査などにくらべて、より県民の日常生活に密着したものであるといえるでしょう。調査に当たっては、知事から任命

された調査員が各商店を訪問し調査票の記入をお願いすることになっていきますのでご協力をお願いします。

二輪車運転者同乗者に

五月ヘルメット着用義務づけ

二輪車は四輪車とちがって、すべりやすく、倒れやすいものです。急ブレーキをかけたり、曲り角やカーブでは、ちよつとしたことで倒れてしまいます。

また、四輪車のようにおおいがありませんので、倒れたり衝突したときは、運転者や同乗者は直接体を打つことになります。

こうした原因から、昨年の県内の二輪車(自転車を除く)事故の死亡者は、運転者三十二人、同乗者が五人にもなっています。そして、死亡者のおよそ八〇割の人は頭を打ったのが原因でした。

この人たちがもしヘルメットをかぶっていたら助かったのではと思われるのが大半のようです。二輪車に乗る人は、まず、頭を守ることが必要です。

昨年六月、道路交通法施行令の

ます。
なお調査票はこの統計だけのために使用され、他の目的、たとえば徴税その他商店の不利益になるような目的には絶対に使用されません。

一部が改正され、「ヘルメットをかぶらないで自動二輪車を運転しまた、ヘルメットをかぶらない者を乗車させてはならない」ことになりました。

毎時四〇キロ以上の速度で走ってもよいと決められている道路ではヘルメット着用が義務づけられたわけです。この規定は、本年五月一日から適用されます。

規定が適用されるのは五月からですが、二輪車を運転する人は早めに丈夫なヘルメットを用意し、そしてころんでははずれないように確実にひもをしめて運転する習慣をつけましょう。

無防備で不安定な二輪車には、ヘルメットは命を守る大切な防具です。(警察本部)

先方の海岸も海上ターミナルを中心にして道路が広がってよくなったので、ローラースケートが流行しはじめ路上で遊ぶ子どもが多くなりました。

せまい海士町の道からやつと立派な道に出た地点なので自動車の運転者もつい、うっかりと気のゆるむ場所です。

遊んでいる子ども達は、ローラースケートに夢中で車に対す

る注意は忘れがちになっています。

又、カーブの多い坂の上からすべり降りて来る子どももあり

私の意見

ですが、ローラースケートはコイントロールはきかないし急にともることも出来ません。今日まで事故の無かった事が不思議な

くらいです。

子どもの遊び場が少ないのに折角の楽しみをとりあげるのは可愛想ですが事故が発生してからはとり返しがつきません、お互いの不幸を未然に防ぐのが先決だと思えます。父兄の皆さん学校、部落の人々、よろしくお指導をお願い致します。

―車の運転者―

ほめられて

冷汗の出る確定日

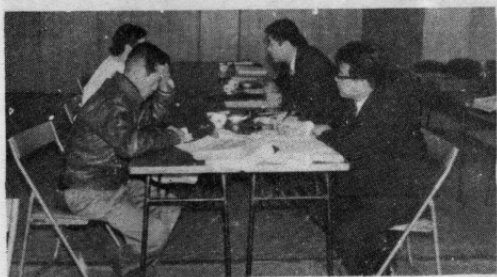
昭和四十六年分の所得税の確定申告書は、一月十六日から三月十五日までの間に提出していただくようになっています。

二月二十五日、二十八日、二十九日には税務署から出向き、社会体育館で申告の指導及び受け付けが行なわれました。

とにかく、役所に提出する書類は、ややこしくて面倒なものだと最初から思いこまれているようでとくに税金の申告書の記入には頭を痛められる人が多いかと存じます。

申告時期が近くなつてから、あわてて、帳簿を整理して、苦勞の

すえどうにか帳尻を合せて申告書



確定申告当日

は書いたが、間違いや、不備を指摘されないうか、いくらかびくびくした気持ちで、帳簿と申告書を税務署員にみてもらつたら、『よく記帳してありますね。申分ありません』などと言われ審査もスーッと通つた時は、ホッと安どすると同時に、心の中になが笑いをされた経験はありませんか。

帳簿はその日のうちに整理しておかないと、だんだんやりづらくなります。来年はひや汗をかかないように、しつかり記帳をお願いします。



2月中届出分
順不同敬称略

お誕生

山下 千鶴(義清長女)小倉町

柴田 祐次(力男二男)愛宕町
吉川 康一(福男長男)小川島
先村 輝彦(敦彦二男)先方町
本城 博文(芳実長男)愛宕町
大森 将生(寿郎二男)〃
森 洋子(重信長女)加部島
金丸加代子(磯雄二女)〃
磯口 季久(美義長男)海士町
木村 陽子(喬二女)殿ノ浦浜
坂本いつ子(常己長女)愛宕町
石山 章大(章一長男)海士町
河納 達也(博長男)松浦町
徳永 保之(定行長男)愛宕町



高砂や

川原 隆次 愛宕町
川原 洋子 〃
浜口 貞治 海士町
西尾 幸子 〃



おくやみ

川原 村一 66歳 愛宕町
小島ミユキ 52歳 加部島
松尾半兵衛 78歳 先方町
宮崎 トヨ 84歳 海士町
谷口 弥市 60歳 愛宕町
前川 キク 86歳 小川島
山下久三郎 71歳 愛宕町
松尾久一郎 66歳 片島
田中 シマ 69歳 松浦町
竹下市治郎 67歳 殿ノ浦西

交通事故相談 日のご案内

昭和四十七年度の四半期の交通事故相談日は左記のとおりです。弁護士も出席されて相談に応じますのでご利用下さい。

場所 唐津市役所市民相談室

日時 四月 十三日(木)
〃 四月 二十七日(木)
〃 五月 十一日(木)
〃 五月 二十五日(木)
〃 六月 八日(木)
〃 六月 二十二日(木)

お詫びと訂正

町報七号「お誕生」の釣川勝利さん長女・由里子さんを由美子と記載。前回、堀尾米男さんと高崎スマ子さんの「高砂や」を松尾米男と、あやまって掲載いたしました。深くおわびして訂正させていただきます。

親と子の心を 結ぶ家庭の日

呼子青少年問題協議会